

令和3年度「学校安全総合支援事業」全国成果発表会 北海道実践的安全教育モデル構築事業

「学校、地域、関係機関が連携した 地域全体での防災教育」 ～時代をつなぐ、横をつなぐ防災教育～

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課
主査 風間 直樹

説明概要

●北海道の目指す防災教育

- ・「1日防災学校」の取組

●北海道実践的安全教育モデル構築事業

- ・函館市立恵山中学校の実践
- ・事業の成果と今後の展望

北海道の目指す防災教育①

「時代をつなぐ」防災教育
災害の履歴や経験・知恵を
確実に受け継ぐ

「横をつなぐ」防災教育
学校と地域が連携・協働

地域防災力の向上

北海道の目指す防災教育②

防災教育の目標

- **知識、思考・判断**～自然災害の原因、減災について理解し、的確な判断に基づく意志決定、行動ができる
- **主体的行動**～安全確保のための行動や、日常的な備えができる
- **社会貢献**～地域の安全活動に進んで協力し、貢献できる

取組の方向性

- **実践的な防災教育の推進**
 - ・ **自助、共助、公助**の視点からの防災教育
 - ・ 「カリキュラム・マネジメント」確立を通じた**系統的・体系的**な防災教育

○ 実践的安全教育 モデル構築事業

・ 道教委と市町村教委が連携した安全の教育モデル構築
防災（函館市）、防犯（白老町）、交通（音更町）

小 中

○ 1日防災学校

・ 学校、地域、防災関係機関が連携した
実践的防災教育

幼 小 中 高 特

○ 高校生防災サミット

・ 高校生による防災、減災への提言
・ リーダー育成、道内ネットワークの構築

高

○ 高校生学校安全 推進事業

・ 防災、防犯、交通安全に関する
安全教育（全校対象）

高

○ 被災地域に対する 支援体制

・ 教員等に対し、災害時の学校再開、心のケア
等に係る研修の実施、教員等派遣

小 中 高 特

1日防災学校の取組

目的

- 実践的防災教育による児童生徒の防災意識の向上
～道教委、道、市町村、防災関係機関の連携～
- 地域住民、防災関係機関との連携協働による体制の構築
～地域コミュニティの核となる学校の活用～



避難所設営体験 (段ボールベッド)



避難所運営ゲーム (Doはぐ)



防災かるた



災害食調理



- 避難訓練・避難所設営体験
- 防災ダックゲーム、防災かるた
- 避難所運営ゲーム【Doはぐ (Hug)】
- 防災グッズづくり、災害食調理

令和3年度実績状況

○154/178市町村 441校
小218 中112 高89 特別支援22

北海道実践的安全教育モデル構築事業



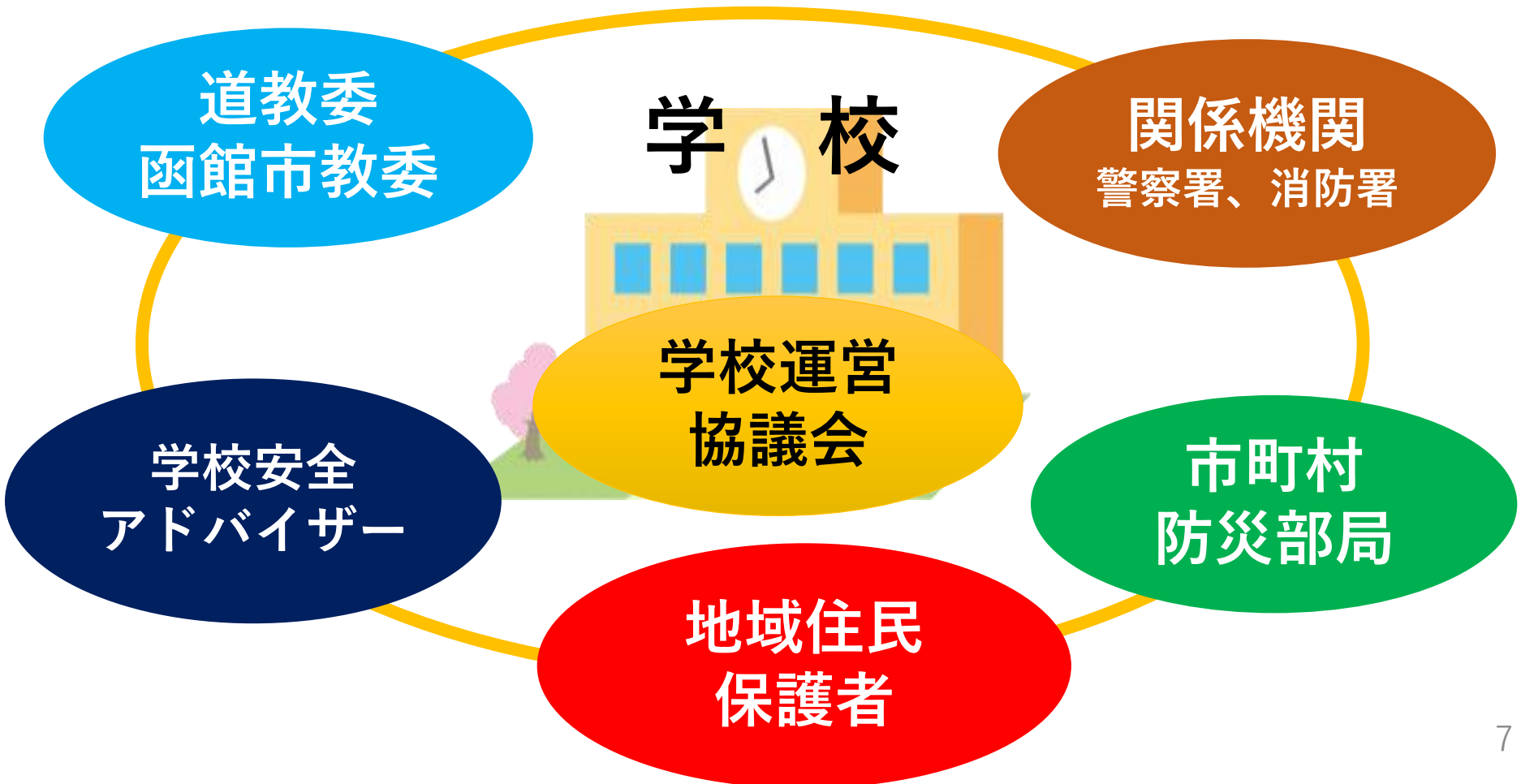
恵山中学校

恵山(活火山)

モデル地域の実践①

関係機関と連携した実践委員会の設置

- 学校、地域住民、関係機関の連携による体制の構築
地域コミュニティの核となる学校を中心とした実践委員会



地域合同避難訓練を兼ねた「1日防災学校」

- 噴火警戒レベル4を想定した地域合同避難訓練
- 恵山中学校を会場に、小学生、中学生、地域住民が参加
- 避難所生活体験、学校安全アドバイザーの授業



- コロナ感染症対策を踏まえた避難所開設

地域合同避難訓練を兼ねた「1日防災学校」



段ボールベッド設営



パーティション設営

- 函館市災害対策課職員から、**避難所でのコロナ感染症対策を学び、**感染防止対策用のパーティション設営
- 児童生徒が災害対策課職員とともに活動

地域合同避難訓練を兼ねた「1日防災学校」



新聞スリッパづくり



実際の避難

- 物資がない避難所を想定し、新聞紙でのスリッパづくり
- 実際の避難訓練により課題を明確にし、**危機管理マニュアル**を見直し¹⁰

地域合同避難訓練を兼ねた「1日防災学校」



学校安全アドバイザー
函館地方気象台火山防災官の講話
「火山と恵山について」



学校安全アドバイザー
北海道教育大学教授の授業
「地域の災害と中学生としての
意思と役割」

事業の成果

- **カリキュラム・マネジメントの視点**を踏まえた
防災教育・安全教育の改善充実
- 学校、地域、関係機関の**組織的取組**による**危機
管理マニュアルの見直し**
- 大学、関係機関・団体、外部有識者による**専門
的知見の活用**
- 1日防災学校を通じた**P D C Aサイクル**に基づ
く**検証・改善**

今後の展望（地域防災力の向上）

- 地域のニーズを踏まえ、実践委員会の取組を進め、地域合同避難訓練の継続により、より一層、地域住民、保護者の協力を得て**地域防災力の向上**を図る。
- 市内の各学校において、地域の実情に応じた、**学校、地域住民、関係機関との連携による体制構築**を図る。



実践委員会

私たちは、豊かな自然あふれる北海道において、自然の恩恵と自然災害との両方の側面を理解して、それを受け止めながら暮らしています。

本年、「北海道高校生防災サミット」が開催され、「地域を守る 命を守る～高校生の私たちが、今できること～」をテーマに、防災・減災の取組を進めていくために必要なことなどについて話し合いを行いました。

私たちは、サミットで得た成果を学校や家庭、地域と共有して防災の輪を全道に広げ、今後直面する可能性がある様々な自然災害から、地域や命を守るために行動することを決意します。

- 災害時に自らの命を守り抜くために、
 - ・私たち若者は、普段から地域とのつながりをもつために、思いやりを忘れずに行動します。
 - ・私たち若者は、自分の身を守るための即決力と判断力を養うために、地域の災害の特徴や自分のことを知るよう努めます。
 - ・私たち若者は、自分ができるところを見つけ、主体的に行動します。

- 地域防災力の向上のために、
 - ・私たち若者は、ボランティア活動やイベントを主催して、「えがお」で挨拶をすることで、地域とのつながりを強くします。
 - ・私たち若者は、地域に合った避難訓練や避難を助けるハザードマップやポスターづくり、配布を行います。
 - ・私たち若者は、記憶を風化させず、被災者の声を生かすイベントなどに取り組みます。

- 私たち一人一人の防災意識を高めるために、
 - ・私たち若者は、地域の特色を知り、家庭でできることに取り組みます。
 - ・私たち若者は、学校内でも防災・減災の知識を学び続けます。
 - ・私たち若者は、全道の高校生ネットワークを構築するとともに、私たちの取組を地域に広げます。

御清聴ありがとうございました。

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課
(防災教育啓発資料)

主なコンテンツ

- 1日防災学校実践事例
- 学んDE防災
- 防災ノート

